

# RAIDコントローラPSoCファームウェア適用手順(Windows)

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、RAIDコントローラ PSoCファームウェアの適用に関して記載しています。

## 1. 対象製品と対象バージョン

下記製品で対象となるいずれかのバージョン(①、②)の場合、本書に従い適用してください。

### ・対象となる製品

N8103-240 RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6)

### ・対象となるバージョン(①、②のいずれか)

PSoCハードウェアバージョン	PSoCファームウェアバージョン	本ツール
0x0007	0x1e以上	対象外
	0x1e未満	対象(①)
0x000e	0x19以上	対象外
	0x19未満	対象(②)
上記以外	—	対象外

※バージョン確認は「3. バージョン確認方法」を参照してください。

## 2. 適用後のバージョン

適用後のファームウェアバージョンは下記となります。既に下記のバージョン以降が適用されている場合、本PSoCファームウェアの適用は不要です。

### ①PSoCハードウェア：0x0007の場合

→PSoCファームウェア：0x1e (0x1e-0,0x001eと表示される場合もあります)

### ②PSoCハードウェア：0x000eの場合

→PSoCファームウェア：0x19 (0x19-0,0x0019と表示される場合もあります)

### 3. バージョン確認方法

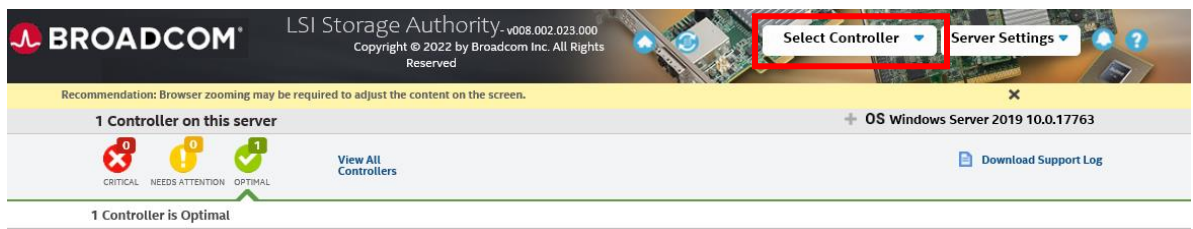
[LSI Storage Authority (LSA) での確認方法]、または[StorCLIでの確認方法]のいずれかの方法で確認できます。

#### [LSI Storage Authority (LSA) での確認方法]

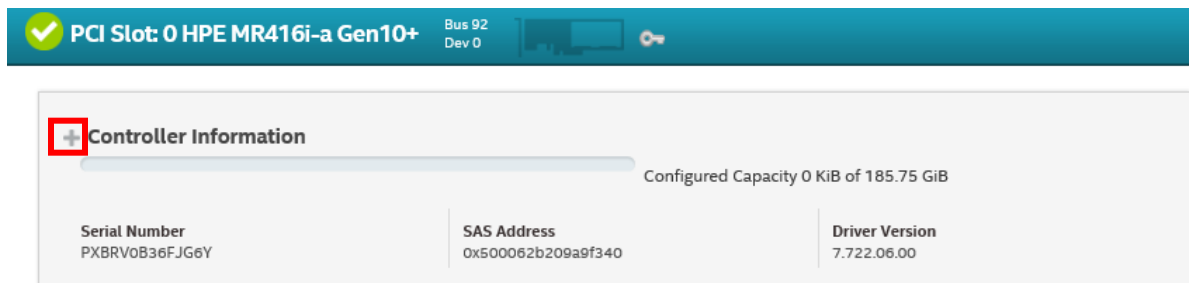
※PSoCファームウェアはLSA v008.002.023.000以降で確認できます。

LSA v008.002.023.000未満の場合は、NECサポートポータルサイト  
(URL <https://www.support.nec.co.jp/>)からダウンロードして適用してください。

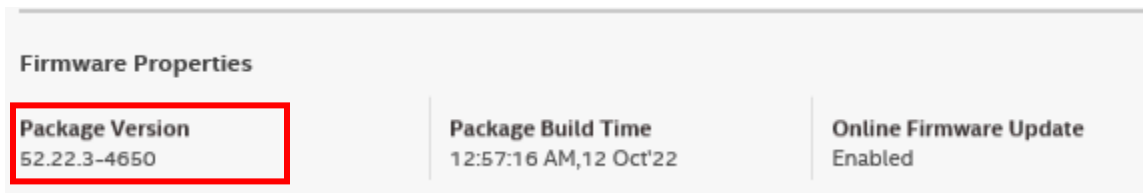
(1) LSAを起動し、画面上の[Select Controller]から対象のRAIDコントローラを選択します。



(2) [Controller Information]左横の[+]をクリックします。



(3) RAIDファームウェアのバージョンを確認します。[Advanced Properties]欄の[Package Version]が「52.22.3-4650」未満の場合は (4)へ、「52.22.3-4650」以降の場合は (5)へ進みます。



(4) RAIDファームウェアが「52.22.3-4650」未満の場合はPSoCハードウェア及びPSoCファームウェアの確認ができません。「5. RAIDファームウェアの適用手順」を確認しRAIDファームウェアを「52.22.3-4650」にアップデートします。アップデート完了後は再び(1)～(3)の手順を行います。

- (5) [Advanced Properties]欄から[PSOC FW version]と[PSOC Hardware Version]を確認します。

Advanced Properties			
NVRAM Present Yes	Shield State Supported Yes	NVRAM Size 128 KB	SSD Guard on SMART Error Disabled
SCSI UNMAP Enabled	SES VPD Association Type LUN	PSOC FW version 0x00xx	PSOC Part Number 12345-890
PSOC Hardware Version 0x0007			

#### [StorCLIでの確認方法]

- (1) 下記のStorCLIコマンドを実行します。

```
storcli64 /cx show all  
x:コントローラ番号
```

コントローラ番号が不明な場合は以下のコマンドを入力するとコントローラ番号が表示されます。

```
>storcli64 show all  
.  
.  
System Overview :  
=====
```

Ctl	Model	Ports	PDs	DGs
0	HPEMR416i-aGen10+	16	x	x

- (2) RAIDファームウェアのバージョンを確認します。[Version]欄の[Firmware Package Build]が「52.22.3-4650」未満の場合は(3)へ、「52.22.3-4650」以降の場合は(4)へ進みます。

```
>storcli64 /c0 show all  
.  
.  
Version :  
=====
```

Firmware Package Build = 52.22.3-4650
Firmware Version = 5.220.03-3739

- (3) RAIDファームウェアが「52.22.3-4650」未満の場合はPSoCハードウェア及びPSoCファームウェアの確認ができません。「5. RAIDファームウェアの適用手順」を確認しRAIDファームウェアを「52.22.3-4650」にアップデートします。アップデート完了後は再び(1)～(2)の手順を行います。

(4) [Version]欄から[PSOC FW Version]及び[PSOC Hardware Version]を確認します。

```
Version :  
=====  
Firmware Package Build = 52.22.3-4650  
Firmware Version = 5.220.03-3739  
PSOC FW Version = 0x00xx  
PSOC Hardware Version = 0x00xx  
PSOC Part Number = 12345-890  
NVDATA Version = 5.2200.16-0626  
CBB Version = 23.10.02.00  
Bios Version = 7.22.00.0_0x07160300  
HII Version = 07.22.03.00  
HIIA Version = 07.22.03.00  
Driver Name = megaraid_sas  
Driver Version = 07.716.02.00
```

## 4. 注意事項

- ドライブベイのステータスランプや、OSのログ等をご確認の上、S.M.A.R.T.エラーなどRAIDコントローラ上でエラーや警告が発生している場合は、異常を取り除いてから適用してください。

### ■ Trusted Platform Module(TPM)について

- (1) 対象サーバーにTrusted Platform Module(TPM)が搭載されているかを確認します。TPMが搭載されていた場合、(2)へ進みます。

TPMが搭載されていなかった場合は、以降の手順は不要です。

- (2) POST 起動中(Function Key 案内表示後)“F9”キーを押下し、システムユーティリティを起動します。

- (3) システムユーティリティから「System Configuration」-「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」-「Server Security」-「Trusted Platform Module Options」へと進み、「TPM Visibility」の設定を[Hidden]に変更します。

※TPMが実装されていない場合はCurrent TPM Stateが【Not Present】と表示されます。

「TPM Visibility」がグレーアウトして変更できない場合は、「System Configuration」-「BIOS/Platform Configuration(RBSU)」-「Server Security」の「Platform Certificate Support」を[Disabled]にしてから、「TPM Visibility」の設定を[Hidden]に変更してください。

上記の箇所に「TPM Visibility」の項目が無い場合は下記手順を実施します。

システムユーティリティ から「System Configuration」-「BIOS/Platform Configuration(RBSU)」-「Server Security」-「Advanced Security Options」-「Platform Certificate Support」を[Disabled]にして、「System Configuration」-「BIOS/Platform Configuration(RBSU)」-「Server Security」-「Trusted Platform Module Options」-「Advanced Trusted Platform Module Options」-「TPM Visibility」を[Hidden]にします。

- (4) F10 : Save を行います。

- (5) "Esc"Key を数回押し、システムユーティリティ まで戻り、『Reboot the System』を選択し、システムを再起動します。

### 【 PSoCファームウェア適用後 】

Trusted Platform Module(TPM)を搭載しているサーバーで、PSoCファームウェア適用前に設定を変更した場合、以下の手順にて元に戻してください。

- (1) POST 起動中(Function Key 案内表示後)“F9”キーを押下し、システムユーティリティを起動します。

- (2) システムユーティリティから「System Configuration」-「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」-「Server Security」-「Trusted Platform Module Options」へと進み、「TPM Visibility」の設定を[Visible]に変更します。

「System Configuration」-「BIOS/Platform Configuration(RBSU)」-「Server Security」の「Platform Certificate Support」を[Disabled]に変更している場合は、[Enabled]に戻します。

上記の箇所に「TPM Visibility」の項目が無い場合は下記手順を実施します。

システムユーティリティから、「System Configuration」-「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」-「Server Security」-「Trusted Platform Module Options」-「Advanced Trusted Platform Module Options」-「TPM Visibility」を[Visible]にします。

その後「System Configuration」-「BIOS/Platform Configuration(RBSU)」-「Server Security」-「Advanced Security Options」-「Platform Certificate Support」を[Enabled]に戻します。

(3) F10 : Save を行います。

(4) "Esc"Key を数回押し、システムユーティリティまで戻り、『Reboot the System』を選択し、システムを再起動します。

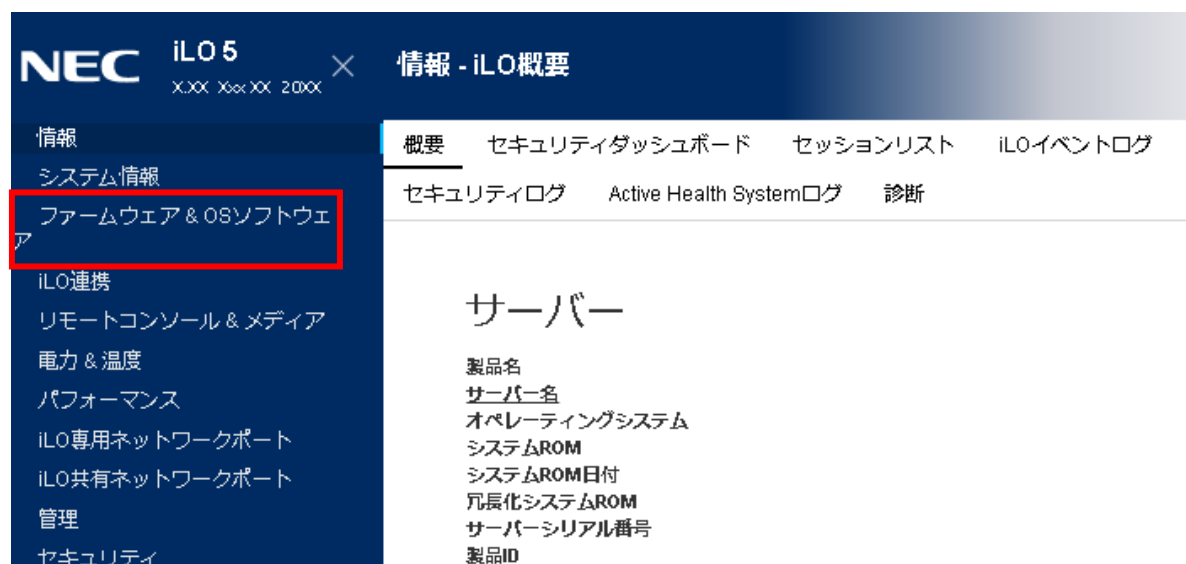
## 5. RAIDファームウェアの適用手順

RAIDファームウェアが「52.22.3-4650」未満の場合のみ対象です。

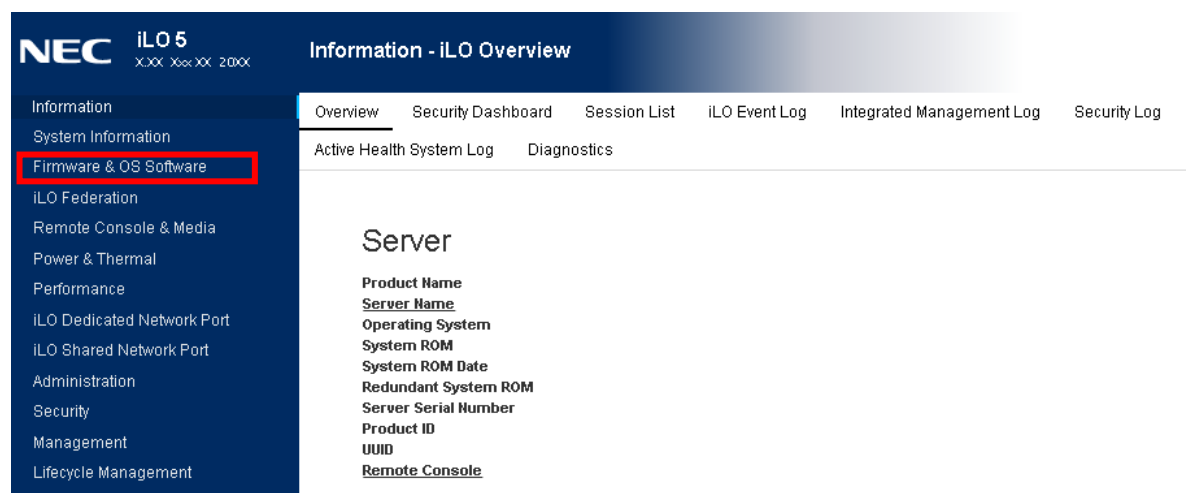
ファームウェアモジュール：HPE\_MR416i-a\_Gen10\_52.22.3-4650.fwpkg

※上記モジュールは「¥3\_RAID FW」フォルダに格納されています。

- (1) ダウンロードしたファームウェアモジュールをiLO Webインターフェースにログインできる装置の任意のフォルダにコピーしてください。
- (2) Webブラウザを起動して、アップデート権限(Configure iLO Settings)を持つアカウントで対象サーバーのiLO Webインターフェース にログインしてください。
- (3) 左側のメニューから「ファームウェア & OS ソフトウェア」タブを選択してください。



<言語：英語の場合>



(4) 右側に表示される「ファームウェアのアップデート」を選択してください。

The screenshot shows the NEC iLO 5 web interface. On the left is a navigation menu with options like '情報', 'システム情報', 'ファームウェア & OSソフトウェア', etc. The main area has tabs for 'ファームウェア', 'ソフトウェア', 'メンテナンスウィンドウ', and 'iLOレポジトリ'. The 'ファームウェア' tab is active, showing a table of firmware modules. On the right sidebar, the 'ファームウェアのアップデート' button is highlighted with a red box.

↑ファームウェア名	ファームウェアバージョン	位置
HPE XXXXXXXX XXX	XX.XX.X-XXXX	XXX

<言語：英語の場合>

This screenshot shows the same interface as above but in English. The 'Firmware' tab is selected, and the 'Update Firmware' button in the right sidebar is highlighted with a red box.

↑Firmware Name	Firmware Version	Location
HPE XXXXXXXX XXX	XX.XX.X-XXXX	XXX

(5) 上記でコピーしたファームウェアモジュール(\*.fwpkg)を選択してください。

The screenshot shows the 'ファームウェアのフラッシュ' (Flash Firmware) dialog box. It has two radio buttons: 'ローカルファイル' (selected) and 'リモートファイル'. Below them is a text field for file selection, which is highlighted with a red box. At the bottom is a 'フラッシュ' (Flash) button.

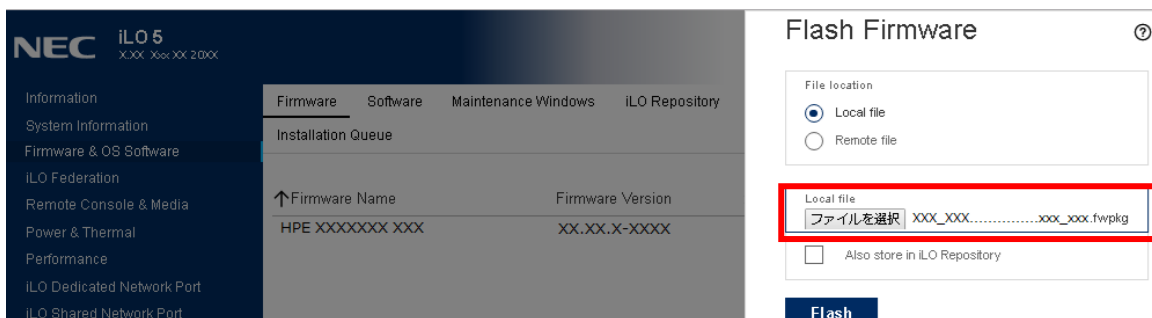
ローカルファイル  
 ファイルを選択 XXX\_XXX.....xxx\_xxx.fwpkg

☐ 同時に、iLOレポジトリに保存

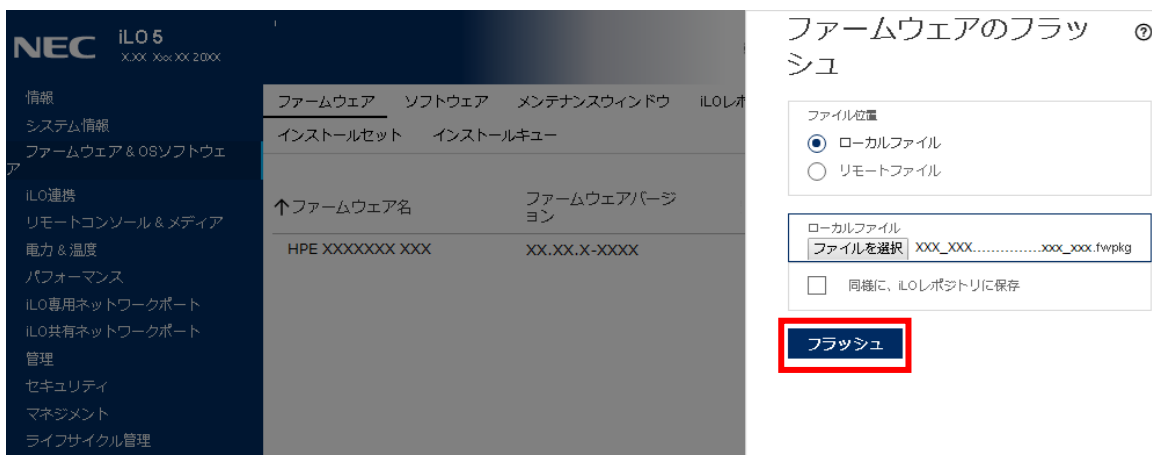
フラッシュ



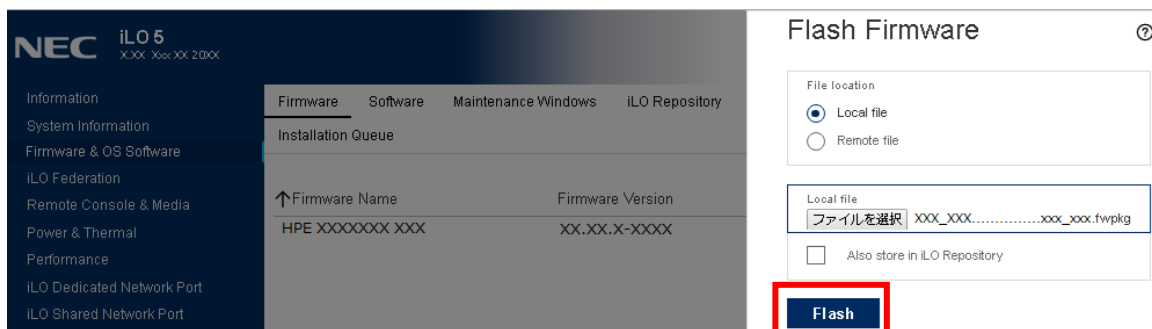
<言語：英語の場合>



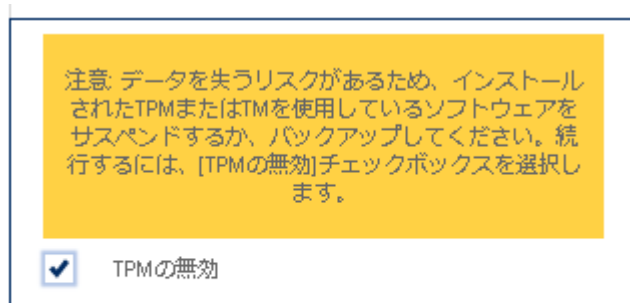
(6) 「フラッシュ」ボタンを押してください。ファームウェアの更新が開始されます。



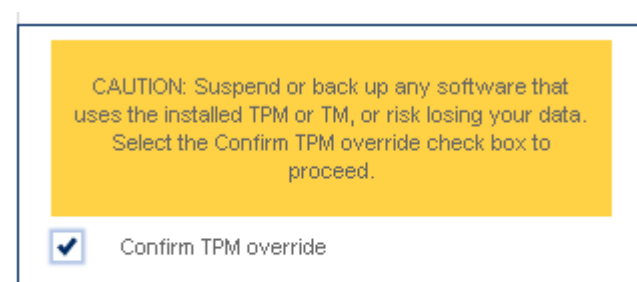
<言語：英語の場合>



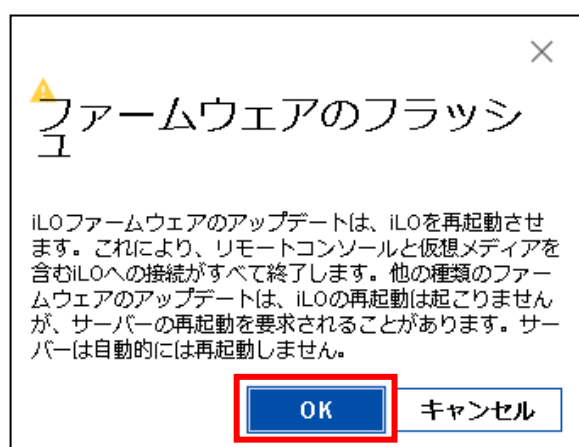
※下記の画面が出てきた場合は、「TPMの無効」にチェックを入れた上で「フラッシュ」ボタンを押してください。



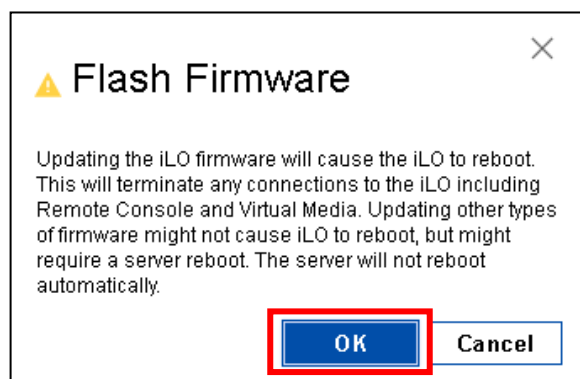
<言語：英語の場合>



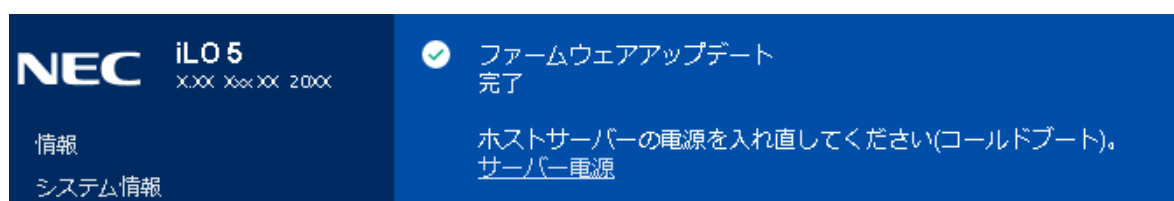
(7) 下記の画面が出てきた場合は「OK」ボタンを押してください。



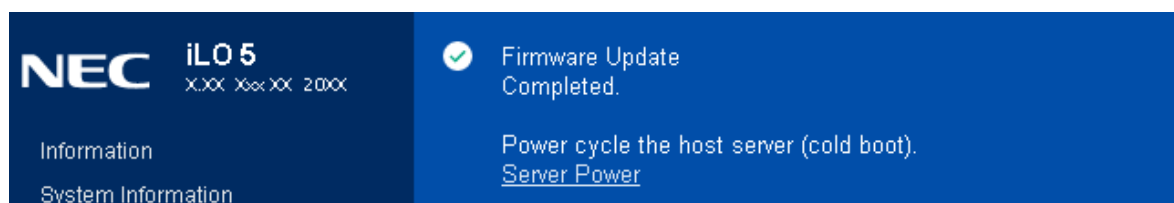
<言語：英語の場合>



(8) アップデートが進行します。「ファームウェアのアップデート 完了」が表示されるまでお待ちください。



<言語：英語の場合>



(9) 対象サーバーを再起動してください。

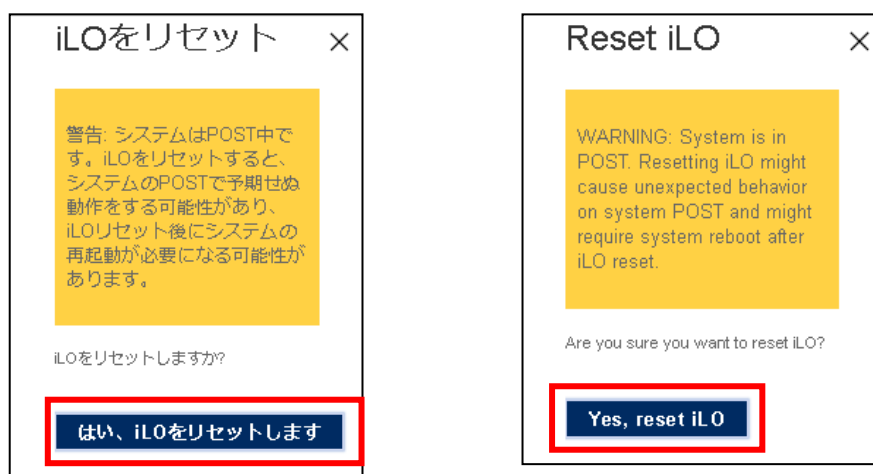
(10) 再起動後、再度「3.バージョン確認方法」を実施してください。

※RAIDファームウェアが更新されていなかった場合、下記の手順を実施後、再度RAIDファームウェアの更新を行ってください。下記の手順を実施してもRAIDファームウェアの更新ができない場合は、お問い合わせの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

1. 対象サーバーのiLO web インターフェイスにログインし、情報 (Information) → 診断 (Diagnostics) → iLOをリセット (Reset iLO) の「リセット (Reset)」をクリックしてください。



2. 下記のような画面が表示されますので、「はい、iLOをリセットします (Yes, reset iLO)」をクリックしてください。



3. iLOのリセット処理が開始され、iLO Webインターフェースのログイン画面に戻ります。リセット処理中はログインができません（約2分掛かります）。約5分経過してもログインできない場合は、iLO Webインターフェースの画面を更新してログインできるか確認してください。
4. ログインできる状態になったらリセット処理は完了です。対象サーバーを再起動してください。
5. 再起動後、再度 iLO Webインターフェースからファームウェアを適用してください。

## 6. PSoCファームウェアの適用手順

PSoCファームウェアモジュール：cp059697.exe

- (1) 任意のフォルダにPSoCファームウェアモジュールをコピーします。
- (2) PSoCファームウェアモジュールをダブルクリックします。
- (3) 「パッケージセットアップ」ウィンドウが起動するので「インストール」をクリックします。



- (4) 別ウィンドウが立ち上がり、アップデートが実行されます。完了まで数分かかる場合があります。
- (5) 「続行するには何かキーを押してください...」が表示されたら任意のキーを押下して画面を閉じ、シャットダウンを手動で実施してください。サーバーの電源が完全に落ちたことを確認してからACケーブルを抜き、10秒経過後に再びACケーブルを挿します。

例)

```
.
.
HPEMR416i-aGen10+ is detected
CTL ID = 0
Controller FW Version:52.22.3-4650
PSOC FW Version is: 0x1d
PSOC HW Version is: 0x7
[SC]: Hardware Identified : PSOCx
[SC]: A newer version of PSOC firmware found
[SC]: Firmware file name: ~.rom
[SC]: Continue with flashing new firmware..
[SC]: Flash Status Success
Smart Components will auto AC power cycle server, after server have
the gracefully shut down from the Operating System.
Please power up the server after the AC power cycle to active the new
PSoC firmware.
Run the Smart Components again to make sure the PSoC firmware version
got upgraded to latest.
Exiting Smart Component
続行するには何かキーを押してください...
```

※[PSOC FW Version]が次の表のバージョンに該当する場合は下図のような画面が表示されますのでこのまま画面を閉じてください。

PSoCハードウェアバージョン	PSoCファームウェアバージョン
0x0007 (0x7)	0x1e以上
0x000e (0xe)	0x19以上
上記以外	—

例)

```
.  
.
HPEMR416i-aGen10+ is detected
CTL ID = 0
Controller FW Version:52.22.3-4650
PSOC FW Version is: 0x1e
PSOC HW Version is: 0x7
[SC]: PSOC Firmware is already upto date. Exiting Smart Component
続行するには何かキーを押してください. . .
```

※TPMの設定を変更していた場合は設定を元に戻してください。

以上で、PSoCファームウェアの適用は完了です。

## ■ 本件に関するお問い合わせについて

本書の内容に不明点がある場合は、下記ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

連絡先	： ファーストコンタクトセンター
T E L	： 0120-5800-72
受付時間	： 9:00～12:00 13:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日を除く)

※ 番号をお間違えにならないよう、よくお確かめの上、おかけください。